発行
令和8年
2月5日
第90号

稲丘時報
TOKYU-JIHO

発行者
長野県下伊那農業高等学校
同窓会
TEL(22)5550
FAX(53)0339
編集・発行
同窓会幹事会
印刷　龍共印刷株式会社

多様な価値観と伝統の融合を

同窓会長　森山和幸（高18回卒）

会員の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

戦後八十年、昭和百年という節目の年だった令和七年は、関西万博の開催、米大リーグでの日本人選手の活躍など明るい話題があった反面、トランプ政権による経済政策に伴う混乱や世界各地での紛争の多発など世界情勢の不安定さに加え、国内では夏の記録的な高温や少雨などの異常気象による農作物の収穫量の減少、コメ問題など政治経済でも不安定な一年でした。

そんな中、母校においては農業を取り巻く環境の変化への対応や、少子化による生徒数の減少から、昨年四月の新入生からは従来の四学科八コース制から新たに三学科六コース制が導入されました。

農業のグローバル化、また農業技術の高度化に伴うスマート農業の進展など大きな環境変化に対応できる人材の育成が求められる中での対応とのことです。母校が他の高校にはない独自の教育活動の一環として、地域企業と連携し伝統野菜や特産品を活用した商品開発や創造性に富んだサービスの提供等、今回の学科改編により一層地域との結びつきが深い学校となることを期待するところです。こうした授業内容の変化も影響してか、近年は生徒の過半数は女子生徒が占めており同時に同窓会員の女性比率も高まってきております。長年活動を続けている女性部「稲穂会」の在り方についても検討が必要な時期に来ています。また、二〇二〇年（令和二年）に学校創立百周年を迎えてから早くも五年を経過し、二〇三〇年には百十周年を迎えることになります。会員の価値観の多様化、会員数の減少、会の財政等、課題は多くありますがこれらの課題を含め、新しい時代にふさわしい同窓会の在り方を模索してまいりますので引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

地域を考え、支える人に

学校長　垂澤和憲

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

本年度入学生より栽培科学科・地域資源科・生物活用科の新三学科三学級となりました。一年生の基礎科目である、「農業と環境」では、一年生が共通して学ぶ内容と、学科ごとの特色を生かした内容となっており、二年次のコース学習につながる学びになっています。先日の収穫祭では、一年生がこれまでの学びを紹介してくれました。

また、今年度も各種大会で活躍があり、吹奏楽班は、長野県大会金賞を経て東海大会で銅賞を受賞しました。農業クラブは、地域の放置竹林活用についての取組である「Bamboo革命」を発表し、高い評価を得るとともに、大阪万博等に招待されての発表などを行いました。農業クラブ全国大会西関東大会では、入賞を目指して農業鑑定競技参加生徒全員が毎日学習に取組み、分野果樹では最優秀賞を受賞しました。この他にも地域の課題を日々の学習の中で取組み、新聞やテレビで取り上げていただいたことが数多くありました。特徴的な活動が光るそんな一年であったと思います。

下伊那農業高校は長い歴史を持ち、百五年を迎えました。ご縁のある新渡戸稲造先生をきっかけに、「農業本論」を自宅の書棚奥から取り出し、二十年ぶりに読み返しました。農業は総合科学であるという視点から、農業高校の農業教育が学際的学びの原点とすることを改めて感じ、生徒の皆さんにとって、地域を考える学校であり、地域を支える人を育てる学校でなければならないと感じました。

同窓会の皆様には、今後ともかわらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

稲穂会マレットゴルフ大会

稲穂会会長　矢澤とみ子（高23回卒）

第十九回稲穂会のマレットゴルフ大会が、六月二十六日、豊丘村アカシアマレットゴルフ場で開催されました。梅雨期ですが晴れて暑い日となりました。今回は同窓生三十三名に加えて、事務局をしてくださっている小林先生の教え子たちで、女子バレー部の一年生五名が参加してくれました。

暑い中でのプレーしっかり水分補給と休憩を取りながら無理をしない様お願いをしてプレー開始です。初めてマレットゴルフをする孫のような女子生徒さんたちの明るく、楽しげな声を聴きながら、好プレーに拍手、珍プレーに大笑いをし、全員無事プレーを終えることができました。

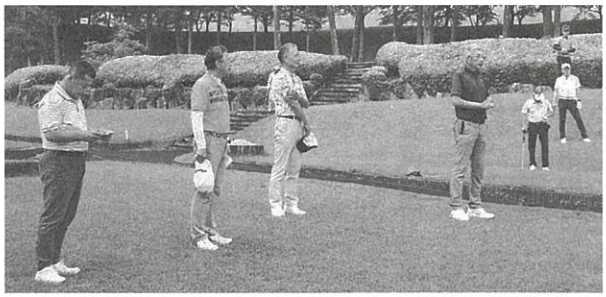
優　勝　小林ヒロ子様（高15回卒）

準優勝　宮島　節子様（高22回卒）

暑い日でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。参加賞として、お弁当を頂き笑顔で解散となりました。

同窓会親睦ゴルフ大会

事務局長　久保田幸宏（高29回卒）



令和七年度の下伊那農業高校同窓会親睦ゴルフ大会が、六月二十五日に高森カントリー倶楽部にて開催されました。今回で第三十三回目となる歴史ある大会です。各地区百八十一名の卒業生が日頃の腕前を発揮し盛大に開催され、楽しい一日となりました。今回の優勝者は、伊賀良支会の今牧さんでした。おめでとうございました。

少し前での大会では、二百人を超える大勢の方が参加されていたようですが、参加する方々が高齢化して年々減少傾向となっています。これからも同窓会親睦ゴルフ大会が大勢の参加で続けていくためには、新しい参加者を各地区で見つけていく必要があると感じています。また一度も参加されたことがない卒業生で親睦ゴルフ大会に出席したいという方は、各地区役員若しくは学校内事務局にお問い合わせください。

すでに来年の第三十四回大会に向け優勝を狙えるように、ラウンド・練習を重ねていると思います。大勢の皆様の協力で、楽しく開催できますようにお待ちしております。健康に留意され、元気にお会いしましょう。

第33回 大会成績
令和７年６月25日 高森CC

一位	今牧　清司	様	（高　十八回卒）
二位	久保田逸郎	様	（高二十一回卒）
三位	岡島　正人	様	（高二十六回卒）
四位	池野　克浩	様	（高三十六回卒）
五位	筒井　仁介	様	（高　三十回卒）
六位	奥村　孝吉	様	（高二十五回卒）
七位	大澤　厚啓	様	（高三十四回卒）
八位	高原　　保	様	（高二十五回卒）
九位	水野　忠人	様	（高　十八回卒）
十位	古田　勝弘	様	（高二十八回卒）
	伊賀良		
	東　京		
	上　郷		
	神　稲		
	神　稲		
	大島・生田		
	上片桐		
	泰　阜		
	大島・生田		
	下　條		

会務報告

同窓会幹事長　松澤　公夫（高36回卒）

会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

校内幹事長を担当させていただいている三十六回卒業の松澤と申します。日頃より、会員の皆様方には同窓会活動にご支援・ご協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

五月二十五日に令和七年度同窓会理事・代議員会を開催いたしました。

議事では、令和六年度事業・決算報告、令和七年度事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。

総会終了後、稲丘会館で懇親会を昨年に引き続き行い親睦を深めることができました。

親善ゴルフ大会及び稲穂会マレットゴルフ大会も盛大にできました。

今年は百周年記念事業から六年目を迎える年となりました。昨年九月に百十周年記念事業準備小委員会を実施し、二回目の小委員会を一月に行い記念事業の方向性を決めました。百周年記念事業で作成した記念誌の残部を希望する在校生に夏休み前の三者懇談会で百七十九名に配布しました。

支会総会は、六支会で行われました。支会開催状況は以下の通りです。

千代支会五月十七日
松尾支会六月二十日
神稲支会七月十九日
上郷支会七月二十一日
喬木支会十一月二十六日

実施した支会におかれましては事務局まで報告をお願いいたします。

支会総会は会員相互の親睦を深められる良い機会です。多くの会員の出席をお願いいたします。

会員の皆様方には健康に気を付けてご活躍されることをご祈念申し上げます。今後とも母校の発展のために、より一層のご理解・ご協力を賜りたくよろしくお願いします。

令和６年度　決　算　書

長野県下伊那農業高等学校同窓会
令和７年５月２４日　提　案
令和７年５月２４日　承　認

1　歳入総額　２，３９２，７７６円
2　歳出総額　１，６３７，６７９円
3　差引残額　７５５，０９７円

１歳入の部　（単位：円）

科　目	当初予算	収入済額	比較増減	備　考
入会金	1,280,000	1,264,000	▲ 16,000	8,000×158名
雑収入	0	7,917	7,917	利息、プリンター差額　等
繰越金	1,178,793	836,859	▲ 341,934	
永年会費	276,000	284,000	8,000	2,000円×142名
その他	0	0	0	
合計	2,734,793	2,392,776	▲ 342,017	

２歳出の部　（単位：円）

科　目	当初予算	支出済額	比較増減	備　考
1，事務費	525,000	246,678	278,322	
1）旅費	130,000	46,800	83,200	支会総会等の旅費
2）事務費	100,000	85,299	14,701	プリンターインク・ロール紙他事務費
3）通信費	60,000	13,950	46,050	郵送料・電話代
4）消耗品費	75,000	34,029	40,971	印刷用紙他
5）負担金	10,000	0	10,000	地区同窓会負担金
6）交際費	150,000	66,600	83,400	各種会議参加費等
2，会議費	410,000	190,157	219,843	
1）役員会費	100,000	25,000	75,000	監査会等
2）代議員会費	210,000	149,467	60,533	代議員会
3）幹事会費	100,000	15,690	84,310	校内幹事会会議費
3，事業費	1,510,000	1,098,234	411,766	
1）稲穂会費	220,000	147,375	72,625	活動費・総会費
2）事業推進費	250,000	70,000	180,000	支会総会の参加
3）稲丘時報発行費	300,000	237,820	62,180	稲丘時報発行費
4）同窓会林管理費	40,000	43,039	▲ 3,039	同窓会林間伐等管理
5）新生会員歓迎費	150,000	150,000	0	校歌等ＣＤ購入用積立て
6）稲丘会事業寄付金	200,000	200,000	0	（財）稲丘会
7）親善大会費	200,000	150,000	50,000	親善ゴルフ
8）会員減少積立金	150,000	100,000	50,000	会員減少積立金として定期預金
4，雑支出	210,000	65,500	144,500	
1）慶弔費	70,000	26,500	43,500	祝儀・香典・弔電
2）転退職職員記念品費	80,000	39,000	41,000	餞別
3）雑費	60,000	0	60,000	1-2）長尺インク他、2-1）役員会
5，予備費	79,793	37,110	42,683	1-2事務　通信費
1）予備費	79,793	37,110	42,683	
合計	2,734,793	1,637,679	1,097,114	

令和７年度　会員の移動

同窓会員

令和七年三月卒業により正会員になった人　一四二名
令和七年四月入学により準会員になった人　一二一名
正会員数　一九、七五六名
旧制　二、四八九名
高校　一七、二七六名
内 男子　一一、五〇一名
内 女子　五、七六六名

進路状況

進路状況について

進路指導部　北原広章

今年度も一五五名の生徒を卒業させることになりました。

生徒が自ら選び保護者の協力の基に、進路を決めることができました。進学・就職ともに第一希望を叶えた生徒が多く高校生活で大きく成長し、自らの意思で進路を選び取れるまでになりました。進学と就職の割合は昨年と変わり七割と三割と進学を考えるご家庭が増えています。

進学から振り返ってみると、本年度の生徒はあらゆる面で決まらずふらついている生徒が多く見られました。一年次からの計画的な進学計画と自主学習をする姿勢のある生徒は確実に年内で進路を決めています。総合型選抜・公募型推薦と多種多様な入試形態がありこの時点で多くの生徒が受験しています。短大は昨年並みという傾向がありますが著しく変化があったのは専門学校より大学へと変わった点です。専門学校等でも飯田下伊那の学校に進学する生徒が複数います。県内外に関わらず多くの生徒が本校での学習を活かした進学を選択しています。他方で新たな世界での学問に進む生徒もおり、彼らの成長を願わずにはいられません。

一方就職については、管内への就職は九十四％と多く、学科の特性に合わせた就職もあります。県内・県外企業でも有名企業への内定もいただくことができました。いずれの生徒も自らの特性と興味関心、長所などを鑑み、自らの力で就職先を決めることができたと感じております。

令和7年度 3学年 進路希望状況（令和8年3月卒業予定者） 2026/1/6現在

卒業予定数
男子　71人
女子　84人
合計　155人

		人数	比率		学年合計	Aアグリサービス	B農業機械	C園芸クリ	D食品化学
				男	71	4	39	13	15
				女	84	35	1	25	23
				計	155	39	40	38	38
就職希望 男子 24人 女子 19人 小計 43人 比率 28%	1管内	35	22.6%	男	21	0	15	5	1
				女	14	3	1	9	1
	2県内	2	1.3%	男	1	0	0	0	1
				女	1	0	0	0	1
	3県外	4	2.6%	男	1	0	1	0	0
				女	3	2	0	0	1
	4公務員	2	1.3%	男	1	0	1	0	0
				女	1	1	0	0	0
	5自営	0	0.0%	男	0	0	0	0	0
				女	0	0	0	0	0
進学希望 男子 45人 女子 63人 小計 108人 比率 70%	6大学	19	12.3%	男	12	3	0	4	5
				女	7	2	0	0	5
	7短大	24	15.5%	男	5	0	2	1	2
				女	19	10	0	6	3
	8県農大等	2	1.3%	男	2	0	2	0	0
				女	0	0	0	0	0
	9専修各種	63	40.6%	男	26	1	17	3	5
				女	37	17	0	8	12
未定 4人 比率 3%	0未定	4	2.6%	男	2	0	1	0	1
				女	2	0	0	2	0

進学　四年制大学
松本看護大学看護学科、至学館大学健康科学部栄養科学科、岐阜女子大学家政学部健康栄養科学科、愛知大学経営学部会計ファイナンス学科、岐阜健康大学リハビリテーション学部理学療法学科、東京農業大学地域環境科学部創成科学科、中京大学応用生物学部食品栄養学科、名古屋音楽大学音楽学科管楽コース、東京農業大学農学部デザイン農学科、静岡県立農林環境専門職大学生産環境経営学部生産経営学科、中部学院大学看護学部看護学科、大阪芸術大学舞台芸術学科舞台音響効果コース、愛知淑徳大学創造表現学部メディアプロデュース専攻、長岡技術科学大学工学部物質生物工学分野、日本大学生物資源学部バイオサイエンス学科、金城大学人間社会学部社会福祉学科、近畿大学農学部応用生命科学科、京都看護大学看護学部、松本大学人間健康学部健康栄養学科　20

進学　短期大学
飯田短期大学看護学科(2)、生活科学科生活科学専攻(2)、介護福祉専攻(2)、食物栄養専攻(6)、幼児教育学科幼児教育専攻(7)、信州豊南短期大学言語コミュニケーション学科(2)、中日本自動車短期大学モータースポーツエンジニアリング学科(2)、宇都宮短期大学音楽科、桐朋学園芸術短期大学演劇専攻、名古屋短期大学現代教養学科　27

進学　大学校
長野県農業(総合農学)　2

進学　専修学校
名古屋こども専門学校こども総合学科(2)、東海医療科学専門学校看護科、佐久総合病院専門学校看護科、松本理容美容専門学校美容科、名古屋ビジネスアカデミーペットビジネス学科トリマーコース、専門学校セントラルトリミングアカデミー動物美容・管理学科、エプソン情報科学専門学校情報ビジネス科、名古屋ECO動物海洋専門学校エコ・コミュニケーション科動物園・動物飼育専攻、名古屋ユマニテク歯科衛生専門学校歯科衛生学科、辻調理師専門学校調理師本科・製菓技術マネジメント(2)、名古屋ビューティーアート専門学校美容科、名古屋ウェディング&ブライダル専門学校ブライダルヘアメイク&ドレス科、信州松本動物専門学校動物看護師学科、名古屋文化学園保育専門学校(2)名古屋ホテル・ブライダル専門学校国際ホテル科、飯田コアカレッジ情報システム学科、あいち造形デザイン専門学校グラフィックデザイン学科、大原法律公務員専門学校行政法律科、トヨタ名古屋自動車大学校高度自動車整備科、名古屋医健スポーツ専門学校食環境テクノロジー科アグリテックコース、HAL名古屋CG映像コース、関西総合リハビリテーション専門学校言語聴覚士学科、長野医療衛生専門学校音楽療法士学科・言語聴覚士学科、名古屋ECO動物海洋専門学校動物&海洋科、総合学ヒューマンアカデミー名古屋校マンガイラストカレッジイラストレーター専攻、名古屋製菓専門学校製パン科・製洋菓子技術マスター科、信州看護専門学校、松本情報ITクリエイター専門学校システム開発コース、新東京歯科衛生士学校歯科衛生士I部、松本看護専門学校、中日本美容専門学校美容科(2)長野公衆衛生専門学校歯科衛生士科、中部音楽技術専門学校ピアノ調律科、京都製菓製パン技術専門学校和菓子上級科、松本大学衛生学院歯科衛生士学科　59

就職　公務員
高森町役場、自衛隊　1

就職　民間(管内)
戸田屋、KOA 七久里の杜(2)、湯多利の里 伊那華(2)みなみ信州農業協同組合(3)、シチズン時計マニュファクチャリング(3)、エフプラス、大王パッケージ中部事業所、神稲建設、矢崎製作所、三菱電機中津川製作所飯田工場、旭松食品(2)、UDトラック、信州航空電子、オートバックス中部販売飯田店、昭和電設工事、木下建設、天恵製菓(2)、黄鶴園、お菓子のシアワセドー、コーエー精機、南信州菓子工房、小林製袋産業(2)、多摩川エアロシステムズ、リックス、マルマン　45

就職　民間(県内)
ニデックドライブテクノロジー、ひかり味噌飯島グリーン工場　2

就職　民間(県内)
エイティーンエンタープライズ(2)、リバティーウォーク、日医工愛知工場　4

家居　4

編集後記

日頃より本校同窓会活動にご協力いただきありがとうございます。この度、稲丘時報九十号を発行することができ原稿依頼を快諾いただきありがとうございました。諸先輩方の活躍を新聞や飯田の地方紙で拝見する中、生徒たちや学校でも先輩方の活躍に感謝しております。いろいろな場面で後輩がお世話になりますがご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。昨年より本校のクラス数が一クラス減り三学級規模となりました。そのため、同窓会事務局としても節約をせざる負えない状況にあります。九十号より枚数を減らし一枚とさせて頂きます。ご意見等ありましたら事務局までお知らせください。